

株式会社シード・アドバンス

Pick Up!

平成29年度

事業計画名

環境対応型高効率超音波洗浄機の開発で
新たな市場シェアを獲得！

概 要

現在、塗装前の工程である洗浄作業に、作業時間と生産コストが大幅にかかってしまっている。また大量の依頼はあるものの、キャパシティが無いため断らざるを得ない案件が多発している。

この課題を解決すべく、洗浄技術の高度化により当社の新たなサービスを確立し、リードタイム短縮と高品質化を実現することで付加価値向上と高収益を目指す。

分 類

＜対象類型＞ ものづくり技術

表面処理

＜事業類型＞ 一般型

成 果

補助事業の対象機械装置等を導入したことで、洗浄作業を行う環境が整った。

当社で洗浄テストを行い、仕上がり具合などをテストした。その結果、従来に比べて大型サイズの製品の洗浄がスピーディにかつ自動でできるようになり、また手作業と違って洗浄ムラが生じなくなった。

機械化したことで作業員の負担が減少し、薬品使用による人体への影響もなくなった。



平成24年度

事業計画名

小ロット・難塗装のニーズに挑戦する「塗装の110番」

概 要

当社の競争力強化のため、最新のクリーンルーム型塗装システムを導入し、工程設計を実施することで、難易度が高く海外生産では不可能な、小ロットかつ特殊な塗装ニーズをターゲットに新市場獲得を目指す。

平成26年度

事業計画名

大型かつ屋外向け塗装製品の市場をリードするための高品質粉体塗装の開発

概 要

現在、塗装技術の1つである粉体塗装は塗装面が「柚子肌」になり易いことが課題となっている。

そこでこれらの課題を解決するために、表面処理技術の産業機械が生産する最終製品の品質・高付加価値向上のニーズにより、従来の粉体塗装では実現不可能であった溶剤塗装並の仕上がりを実現させ、試作品を産業機器メーカーへ売り込むことを目指す。

好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

株式会社シード・アドバンス（松本市）

プラスチックから金属まで、こだわりの高品位塗装。
さらに未来を見つめ、生産性と環境性の両立を目指す。

量産プラスチック製品から 大型金属製品の塗装へ

同社の創業は1995年。日本のカメラ産業が隆盛を誇っていた時代で、当初はカメラレンズのコーティング塗装がメインでした。さらに周辺地域では家電製品の工場が多かったため、電気シェーバーやドライヤー、MDプレイヤーなど小型家電の塗装も手がけ、着実に業績を伸ばしていきました。



環境対応型超音波洗浄機

しかし、家電製品の生産拠点がアジア諸国にシフトするようになると、同社も大きな転換を迫られます。そして、海外へ流出しにくい分野として、これまで経験のなかった金属製品の塗装へ、2004年からシフトしました。

プラスチック製品は大ロットの量産品が多く、手の平サイズが中心。かたや医療機器等に使用される金属製品は、小ロットですがサイズは大型化。「ひと口に塗装といっても勝手は大きく違いました。しかし、プラスチック製品をきれいに仕上げる塗装技術が、この新分野でも当社の大きな強みになったのです」と百瀬社長は当時を振り返ります。それからの同社は、医療、通信、精密部品など金属製品の受注を着実に拡大していきます。特に、高い品質が要求される仕事を中心に、お客様からの評価を高め、一時は、金属塗装が売上の9割を占めました。現在は、量産ではない高級プラスチック製品の塗装の需要が高まり、金属7対プラスチック3の比率に落ち着きつつあります。

生産性能だけでなく環境性能も重視

百瀬社長は、こと金属製品の塗装に関しては、次のような課題があったと言います。



超音波洗浄機専用のチャラー

「メーカーから当社に運び込まれる金属製品は、加工の際のオイルが付着したままです。塗装の前には、このオイルを洗浄して、塗装面をきれいにしなければなりません。特に大型の金

属製品の場合は、手作業で対応せざるを得ず、大変な労力と時間がかかっていました」。



金属製品は大型が多い

同社は平成29年度ものづくり補助金によって、大型の超音波洗浄機を導入。従来、手作業で4時間かかっていたオイル洗浄を約30分にまで短縮することができました。しかも、環境対応型のオリジナル仕様です。

「この超音波洗浄機は、生産性能と環境性能、ふたつとも両立させようとオーダーメイドで発注しました。当社のように薬品を扱う塗装の現場では、単に生産性を上げるだけではなく、人体や環境への配慮がとても大切です」。同社の工場を見学すると、すべての塗装現場にクリーンルームが整備されており、塗料の匂いが少ないことに驚かされます。

先代から経営を引き継いで5年目の百瀬社長。「いま、いくら環境性能にこだわっても、すぐに大きなメリットにはなりません。でも、長い目で見れば、安心な労働環境は雇用の安定につながり、メーカーは環境貢献をアピールできる製品を提供できます。これは、これからの塗装業界にとってもメリットになるのではないのでしょうか」。

若き経営者の言葉から、熱い情熱があふれていました。



難易度の高い塗装



クリーンルームの塗装作業



株式会社シード・アドバンス

代表 代表取締役 百瀬功一
設立 1995（平成7）年8月
資本金 3,000万円 従業員数 14名
本社 松本市大字笹賀6010番地1



TEL.0263-27-4474 FAX.0263-27-2815

URL.<http://www.seed-advance.jp/>

事業内容 一般塗装、精密部品特殊表面処理、金属製品製造